



加工用途に適した 大球・多収たまねぎ新品种「HT46」

特 性

- 長所
「スーパー北もみじ」より大球・多収である。
- 短所
乾腐病に弱い。

農 業 形 質

表. 試験成績(育成場平均)

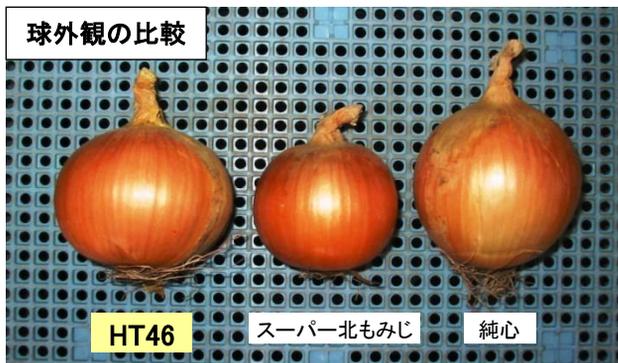
系統・品種名	倒伏期 発生率 (月日)	抽台株 発生率 (%)	総収量 (kg/a)	同左 比	平均 一球重 (g)	乾腐病 ^{注2)} 発病率 (%)	貯蔵後 ^{注3)} 健全率 (%)
HT46	8月11日	0.4	845	138	312	34.1	57.2
スーパー北もみじ	8月8日	0.0	612	100	227	17.3	73.0
純心	8月13日	1.3	886	145	337	24.5	22.1

注1)北見農試4か年(H17-20年)とホクレン農業総合研究所3か年(H18-20年)の平均

注2)乾腐病菌苗接種検定による(H17-20年)

注3)収穫年翌春調査(H18-19年)

球外観の比較



「HT46」は、北見農試とホクレンとの共同研究で育成されたF1品種です。
青果用品種「スーパー北もみじ」よりも収量性が高く、加工用品種「純心」よりも熟期が早く長期貯蔵可能です。
難土壤病害である紅色根腐病発生ほ場での被害が少ないことから、この病害が発生する地域のたまねぎ生産に貢献できると考えています。

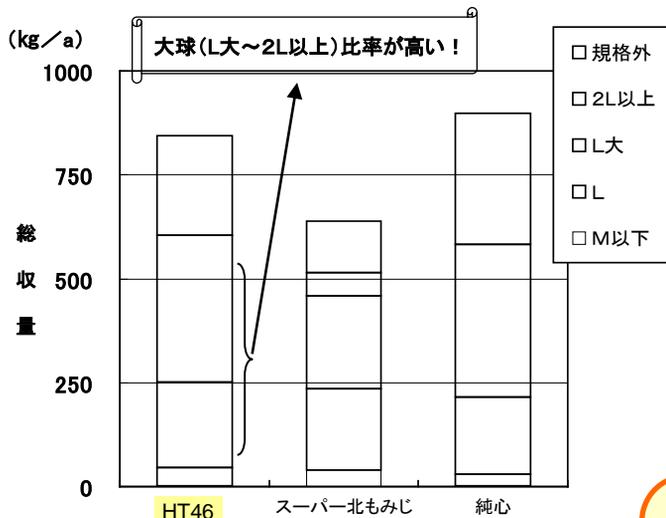


図. 収量構成比率

表. ソテー加工適性評価

項目	系統・品種名	HT46	スーパー北もみじ
加熱前			
剥皮後歩留(%)		85.4	85.0
水分(%)		89.3	90.0
Brix		9.2	8.3
加熱後			
製品歩留(%)	高い!	55.0	52.4
加熱時間(分)	短い!	98	107
水分(%)		80.4	78.1

注1)北見市A社 2か年(H19-20年)平均

注2)加熱後のBrixは約17に設定

紅色根腐病激発ほ場における生育



栽培上の留意点

1. 乾腐病抵抗性は「スーパー北もみじ」より劣るので、本病害が多発するほ場での栽培は避ける。
2. 耐抽台性は「スーパー北もみじ」ほど強くないため、早期は種や早期定植は避ける。
3. 熟期がやや遅いので、生育遅延の著しい地域・ほ場での作付は避ける。

北海道立北見農業試験場 作物研究部 畑作園芸科
住所 北海道常呂郡訓子府町字弥生52
電話番号 0157-47-2146
e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp